

■ CYP2D6 遺伝子多型検査

● 適応疾患：ゴーシェ病患者のうち経口投与治療薬を投与される予定の患者

技術のポイント	解 説	効 果	診療科
ゴーシェ病という病気に関して、2週間に1回、数時間に及ぶ点滴注射（酵素補充療法）に代わって、注射が不必要な内服薬治療が可能になります。	酵素補充療法に代わるサデルガカプセルという名前の内服治療薬は、基質であるグルコセレブロシドの量を減らす薬剤です。しかしながら、薬の効き目、反応性は人により異なります。各個人が持っている固有の遺伝子の違い（すなわち、DNAの差異）によって、薬が体内に入った後、分解されるスピードが違っていることが、その理由の一つです。とても早く分解されると治療効果が期待できません。反対にいつまでも体の中で分解されずにいると副作用が強く出ることがあります。体内でのサデルガカプセルの分解にはチトクローム P450 2D6（CYP2D6）という酵素が主に関わっています。したがって、患者さんの血液を採取し、その方の CYP2D6 遺伝子がどのようなタイプか（分解が早いタイプ、遅いタイプなど）を確認する必要があります。この検査が「CYP2D6 遺伝子多型検査」です。	この検査を受けた結果、サデルガカプセル治療が可能かどうか判断できます。もし、投与可能ということであれば酵素補充療法から内服療法に切り替えることができます。	小児科・新生児科
CYP2D6 遺伝子多型検査 では、検査に係る一切の費用が企業負担のため無料となります。 なお、保険給付の適用が認められている他の診療費用については、加入されている保険に定める負担金が必要となります。			

■ S-1+パクリタキセル経静脈腹腔内投与併用療法

●適応疾患： 膵癌(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)

技術のポイント	解 説	効 果	診療科
膵癌腹膜転移に対して S-1 の内服+パクリタキセルの経静脈・腹腔内投与併用療法を行う治療法です。	切除不能膵癌の中でも腹膜転移（腹膜播種、腹腔洗浄細胞診や腹水細胞診陽性）を有する患者様は多彩な随伴症状（腹痛、腹部膨満、腹水貯留、腸閉塞）により QOL が低下して化学療法の継続が困難です。今まで腹膜転移に対する有効な治療法はなく、その予後は極めて不良です。本治療はこれまでの化学療法に加えて抗癌剤（パクリタキセル）の腹腔内投与を行うことで予後延長に繋げようとする治療法です。	腹膜転移の進行を制御することで多彩な随伴症状を改善し、さらなる化学療法の継続を可能とし、生命予後の延長が期待される。	肝胆膵外科
<p>S-1+パクリタキセル経静脈腹腔内投与併用療法は、1 コース（3 週間）につき 18,637 円 となっています。この費用は保険給付の適用外ですので、全額が患者さまのご負担となります。（基本的には、所得税法上の医療費控除の対象となります。）</p> <p>なお、保険給付の適用が認められている他の診療費用については、加入されている保険に定める負担金が必要となります。</p>			